



## 建学祭学科企画主催&ICFD2018で発表

東北大学流体科学研究所主催の国際学会にて共同研究課題の成果について発表

2018年11月1日から同3日にかけて、本学建学祭が開かれ、11月3日（祝）に学科企画「航空科学の魅力と未来」を開催しました（写真上段）。この企画は、文部科学省委託事業「実機飛行実習を通じた航空科学実践教育の展開」のアウトリーチ活動の一環でもあり、航空産業会からは、[\(株\) ジャムコ](#)から当専攻OBの佐伯円基氏をお招きし、航空機搭載機器に関する特別講演、また、沼田大樹講師による火星航空機に関する特別講演などを実施しました。当日は、一般の方々を含め70名を超える参加者がありました。今後も、このような活動を展開する考えです。

2018年11月7日から同9日にかけて、[国際学会Fifteenth International Conference on Fluid Dynamics \(ICFD2018\)](#)が仙台国際会館にて開催されました。この国際学会は、東北大学流体科学研究所（以下、流体研）が主催するもので、流体科学に関する世界的な学会となっています。当研究室は流体研と共同研究を実施しており、その成果を発表するため、共同研究成果の発表セッションでポスタ発表"Attitude Control of a Supersonic Projectile by Pulsation of Bow Shock"と題した発表を行いました。今後も流体研との共同研究体制は継続される予定です。